

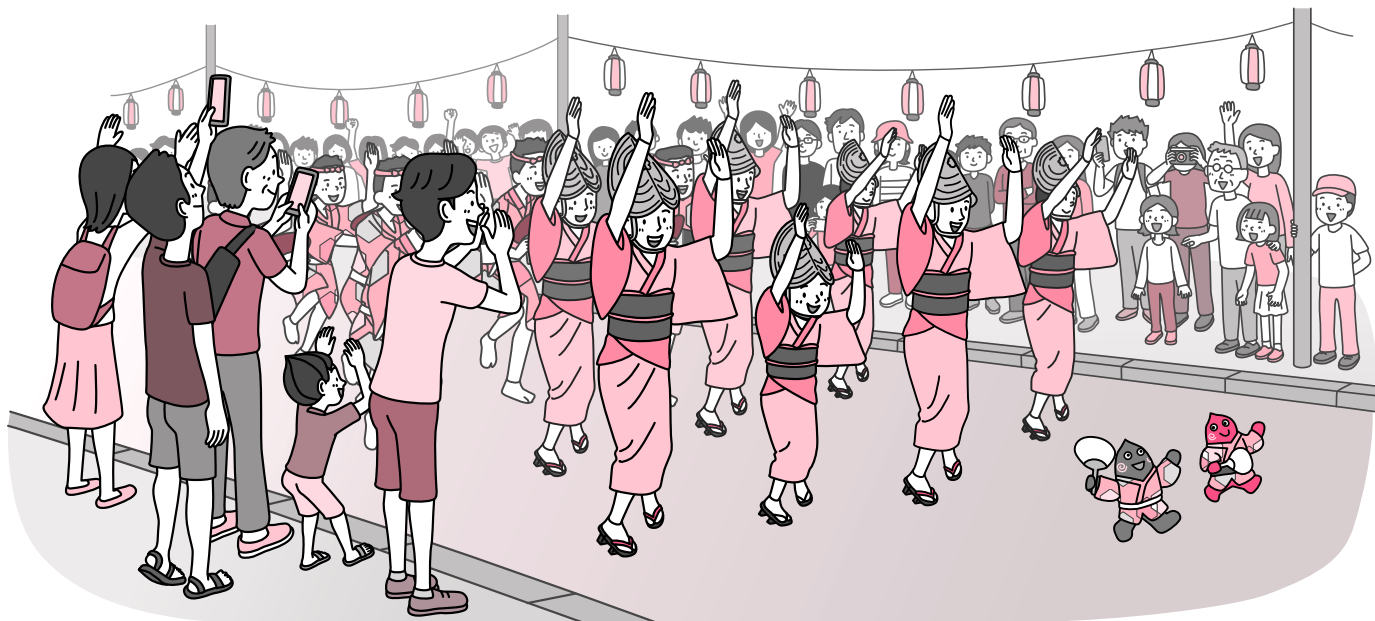
やまと

特集

- ・古谷田市長が所信表明 2
- ・わくわく体験!まなび・あそび・夏休み! 5

市からのお知らせ

- ・低所得の子育て世帯に生活支援特別給付金を支給 6
- ・マイナンバーカードの臨時交付窓口を開設 7
- ・夏休みボランティア「このゆびとまれっ!」 9
- ・令和6年度の少年消防団員を募集 12
- ・市消防吏員(上級・初級)を募集 13



☑ココみてやまと

- ・第47回 神奈川大和阿波おどりを開催
- ・第29回 西口風鈴まつり

古谷田市長が所信表明

古谷田力市長は6月1日、市長就任後初の定例議会となる「令和5年6月大和市議会第2回定例会」において、今後の市政運営に向けた所信を次のとおり表明しました。



本日、令和5年6月大和市議会第2回定例会が開催されるにあたり、私の市政に対する所信の一端を申し述べ、今後の市政運営に向け、議員各位、市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、去る4月23日に行われた大和市長選挙におきまして、市民の皆様への信託を受け、市政運営の重責を担わせて頂くこととなりました。昭和43年、大和市に生まれてから今日まで大和市で暮らし、学び、そして働いてまいりました。この間、多くの人に育てられ、多くの人の支えを受けたことにより、今の私があることに感謝し、大和市に恩返しをしたいという思いで、この場に立っています。私は、子どもから高齢の方まで、立場や境遇に関わらず、全ての人が楽しく、笑顔あふれ、心と体に加えて、社会的にも幸せな状態、いわゆるウェルビーイングが実感できる大和市を目指してまいります。

ここ数年は、新型コロナウイルスの流行や不安定な海外情勢などが、市民の暮らしをはじめ、事業者や企業の活動に非常に大きな影響を与え、多くの人が不安を抱えている状況が続いています。また、近い将来において発生する切迫性が指摘されている大規模地震、さらには人口減少期への対策など、



様々な課題が山積しており、それら一つ一つについて適切に、そして迅速に対応することが求められています。

今回、出馬にあたり色々な方のお話を伺いました。その中でも、特に心に刻むべき話がありました。かの松下電器産業、現在のパナソニックグループを築き、晩年には松下政経塾を立ち上げた松下幸之助氏に関する話です。彼は、新しく開発した製品について、どこが便利か、どんな新しい機能があるかを説明する社員に対して、関西弁で「それだけでっか？」と問うたのだそうです。どれだけ新たな機能を搭載しようが、どれだけ性能を向上させようが、その製品が目の前の課題を解決することだけを目的に開発されるのでは十分

ではなく、どのように喜ばれるのか、2年後、3年後にどのように世の中の役に立つのか、さらには、その商品を使った人々が、10年後の社会をどのように変えていくのかまで考えなければならぬ。そのような信念に裏打ちされた問いかけであったのだろうという話でした。

この話を伺ったときに、私自身が預かる市政運営において、決して忘れてはいけない、持ち続けなければならない、とても重要な視点でもありと感銘を受けました。

一例を挙げますと、誰もが願う基本的なこととして、「健康」がありますが、私は、これを予防医療の観点から強化してまいりたいと考えています。



なでしこレジェンドが見守る中サッカーを楽しむ子どもたち

ます。そのためには、生活習慣の改善において、運動、スポーツが重要となります。私は、ある程度の年齢になってから体を動かすのではなく、幼少期から「体を動かすことが楽しい」「うれしい」と感じてもらえるよう、これまでも事あるごとに、子どもたちに運動やスポーツの大切さを訴えてきました。5年後、10年後、その子どもたちは青年、そして大人になり、さらに年を重ねていきます。幼少期に身に付けた運動やスポーツが、いずれ生活習慣の改善、フレイル予防、ひいては人々との交流による孤独、孤立の防止、社会性を育むことができる居場所づくりへとつながってまいります。私は、このような取り組みが、将来の大和市の礎を築くための新しい一歩になると考えております。

それでは、これからの4年間の市政運営に向けて、述べさせていただきます。

まずは、新たな市役所の扉を開くため、大きく三つ、申し上げます。私は、市民の皆様一人ひとりが幸せを実感できる新時代を目指し、その第一歩を踏み出してまいります。市政運営の中心は市民の皆様です。市民の、市民による、市民のための大和市政を

創り上げていきたいと考えています。

そのためには、まず、市民の声を聞くことが必要です。どのような意見があるのか、多くの人が望むことが何か、少数意見の中にも市政に反映すべき意見はないか。そのような視点でいただいた意見を精査し、政策につながる部署を新たに設けてまいります。

そして、もう一つは、現在実施している約1,000の事務事業を検証し、地方自治体が行うべき業務、行う必要のない業務、行うべき業務でありながら行われていない業務等の現状把握を行い、行うべき業務を適切に実施する自治体に戻してまいりたいと考えています。その際、一人ひとりの職員が、現在を容認するのではなく、第三者の視点を持ちながら再確認し、ボトムアップによる検証を行ってまいります。

三つ目といたしましては、皆様ご存じの通り、市民生活は大和市内で完結するものではありません。平常時においては、市民生活を豊かに、そして利便性を高める取り組みなど、非常時には、市民の安全、安心を高める取り組みとして、今後、どのような広域連携を図ることが必要か研究し、他自治体との連携を図ってまいります。

次に、市民生活に関わりのある分野別に四つ、申し上げます。

一つ目は、災害に強いまちづくりです。

近年、様々な大規模地震の切迫性が指摘されていますが、中でも、今後30年以内に発生する確率が7割と高い数字で「南海トラフ地震」と「首都直下地震」が予想されています。大和地域には活断層がなく、液状化のリスクも低いとされていますが、災害に対して備えすぎはないかと考えます。これまでも市民問わず、様々な協定を締結しておりますが、引き続き更なる協定締結を進めるとともに、災害時に支援を必要とする人を対象にした個別避難計画の作成につきましては、対象者の状況ごとに緊急度を分類し、モデルケースとして計画を作成し、得られたノウハウを活かして取り組みを進めてまいります。

二つ目は、未来を担う子どもたちに関する政策です。

コロナ禍により、さらに注目された言葉に「レジリエンス」があります。つまり体験やストレス、不利な環境にうまく適応したり、精神的なダメージから回復したりする力のこと、心の弾力性を意味しています。社会に出ると色々な環境、出来事に遭遇します。その時に困難を乗り越えられる力を身に付けた人に育てるため、この名を冠した「レジリエンス教育」を自然の中の体験活動等を通じて推進してまいります。

と考えています。イギリスには、「穏やかな海は良い船乗りを育てない」ということわざがあります。困難を乗り越えてこそ、人は成長するということを表した言葉です。人間が抗うことができないう「自然」という存在の一端に触れ、五感を様々に刺激することは、子どもたちにとって貴重な体験となるものと捉えています。

成長期の子どもたちにとって、学校給食は心身の健全な発達に資する大きな役割を持つほか、食事のマナーや食事の大切さを学ぶ場です。そのため、新鮮な地場農産物を用いた地産地消に取り組みとともに、日常生活における食事の大切さなどについて正しく理解することにつなげ、その充実を図ってまいります。

三つ目は、福祉政策です。家族構成や地域コミュニティの変化に伴い、育児や介護、生活困窮など、複数の福祉的な課題を抱えた家族が散見され、これまでの障がい、介護、高齢者など、課題ごとの組織では十分な対応が行えなくなってきました。そのため、子ども、障がい者、高齢者、生活困窮者など、複数の福祉的な相談について、断らない総合相談窓口の設置を進めます。また、これまで分野ごとに市民相談を受ける組織を整備していますが、複数の課題を抱える家族に

寄り添い、適切に対応していくためには、相談組織の横の連携に加え、市役所の所管組織もつながることが必要です。相談組織と市役所の縦横の連携を図ってまいります。

四つ目は、地域経済の活性化です。市民、大和市を明るくするために、地域経済を活性化してまいります。

まず、「エンターテインメント」をキーワードに、多くの市民が明るく楽しく笑顔で交流できる大和市を実現するため、新たなイベントの開催やシティブランド、SNSを活用したシティセールスなどに力を注いでまいります。加えて、地域経済の活性化を図るため、改めて市内商工業者の支援を積極的に推進するとともに、新たなチャレンジを応援するため、市内に



大和の夏の一大イベント「神奈川大和阿波おどり」

おける創業支援や第二創業支援を行うてまいります。

また、スポーツには、「するスポーツ」だけでなく、「見るスポーツ」「支えるスポーツ」と色んな側面があります。そして、その効果は、健康増進や青少年の健全育成、地域コミュニティの形成など、とても幅広いことがわかっていきます。このことから、活気あるまちづくりを進めるため、楽しむものからトップスポーツまで、幅広く「するスポーツ」を支援するほか、「見るスポーツ」「支えるスポーツ」として、地元ゆかりのチームを一丸となって応援する機会を設けるなど、スポーツの振興に力を注ぎ、市民の皆様の交流とにぎわいの創出につなげてまいります。

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「脱炭素社会」「カーボンニュートラル」、そして大量生産、大量消費の経済活動を脱しての循環型社会の実現は、もはや費用対効果で判断することができている状況にはありません。地方自治体として、これまでも取り組んできたごみの減量化、太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用を進めるほか、これまで未活用だった資源の有効活用についても可能性を探ってまいります。

以上、主要な施策につきまして、私

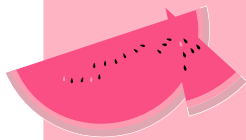
の考えを申し述べてまいりましたが、厚木基地につきまして、航空機の騒音被害や、まちづくりへの支障など、本市に様々な影響を及ぼしていることから、基地に起因する諸問題の解決と市民負担の解消に向けた取り組みを進めてまいります。

そのためにも、本市と厚木基地との間で、各種交流事業等を推進し、相互理解を深め、活発な意見交換や円滑な情報共有等を図り、災害時における連携強化等につなげるなど、厚木基地との更なる関係構築にも取り組んでまいります。

大和市は、様々な課題を抱えており、さらには、自然災害の発生や、想像し得なかった新型コロナウイルスの流行などのように、今後も予期せぬ出来事が起こるかも知れません。私は、いかなるときも市民の生命を守り、安全、安心な暮らしを提供することは、地方自治体の使命であると考えております。

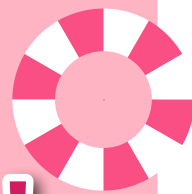
この使命を果たすため、議員各位をはじめ、市民の皆様のご理解、ご協力をいただきながら、新たな大和市づくりを一步一歩着実に進めてまいります。ごぞいます。

議員各位におかれましては、ご指導とお力添えをいただきますよう心からお願ひ申し上げます、私の所信表明とさせていただきます。



特集

わくわく体験！ まなび・あそび・夏休み！



夏休みアクアスポーツ教室

海で爽快感あふれるスタンドアップパドルボード(SUP)の体験教室を行います。

と き▶7月26日(水)午前9時30分～正午

ところ▶材木座海岸(鎌倉市)

対象/定員▶小学3年生以上(小学生は保護者同伴)/15人(定員を超えた場合は抽選)

持ち物▶水着、タオル、ぬれてもよい靴、日焼け止め
申し込み▶7月19日(水)までに往復はがきに教室名、住所(市外在住で市内在勤・在学者はその旨も)、氏名(ふりがな)、性別、年齢(学生は学年も)、電話番号を記載し、〒242-0029上草柳1-1-1大和スポーツセンターへ。同センターのホームページからも可。

※市の所管はスポーツ課。

☎大和スポーツセンター
☎(261)6200 FAX(261)6485

夏休み親子料理教室

親子で調理実習をするほか、栄養教諭・栄養士による大和市の学校給食についての講話を行います。

と き▶8月2日(水)・3日(木)いずれも午前10時～午後1時

ところ▶神奈川県学校給食会館(中央3-5-4)

対象/定員▶小学4年生～中学生と保護者/各24組(定員を超えた場合は抽選。結果は全員に通知します)

費用▶1人300円(直前のキャンセルの場合はキャンセル料が発生する場合があります)

持ち物▶三角巾、エプロン、ふきん2枚、筆記用具

申し込み▶7月10日(月)までに電話で保健給食課へ。



☎市教育委員会保健給食課保健給食係
☎(260)5206 FAX(263)9832

夏休み子ども映画教室

プロの映画監督の指導のもと、映画づくりを体験できます。最終日には完成作品の上映会を行います。

と き▶8月2日(水)～4日(金)午前9時～午後5時(全3回。最終日は終了時間が午後5時を過ぎる場合があります)

ところ▶林間小学校

対象/定員▶市内在住・在学の小学3～6年生/24人(定員を超えた場合は抽選)

申し込み▶7月14日(金)までに大和市イベント観光協会ホームページ内応募フォームから。

※詳しくは同協会☎(260)5799へお問い合わせください。

☎市役所イベント観光課イベント観光係
☎(260)5167 FAX(260)5138

夏休み親子環境教室

河川での水生生物調査や自然に関する博物館の見学を通して、環境保全の大切さを学びます。

と き▶8月3日(木)午前8時30分～午後5時

ところ▶県立生命の星・地球博物館(小田原市入生田499)、中津川(松田町)

※集合・解散は保健福祉センター。

対象/定員▶市内在学の小学3～6年生と保護者/20人(定員を超えた場合は抽選)

持ち物▶帽子、タオル、着替え、ぬれてもよい靴、昼食

申し込み▶7月14日(金)までに直接または電話で市役所生活環境保全課へ。

☎市役所生活環境保全課生活環境保全係
☎(260)5106 FAX(260)6281

低所得の子育て世帯に生活支援特別給付金を支給

食料品等の物価高騰に直面する低所得の子育て世帯を支援するため、特別給付金を支給します。この給付金は全国一律の制度で、給付を受けるには一部の人を除いて申請が必要です。

29日生まれの子または20歳未満で政令の定める程度の障害がある子。
申請期限▼来年2月29日(木)(消印)。
※令和6年3月分の児童手当または特別児童扶養手当の認定請求をする人は来年3月15日(金)(消印)まで。

※この給付金には「ひとり親世帯分」と「ひとり親世帯以外の子育て世帯分」の2種類の受け取り区分があり、受給できるのは原則いずれか一方のみです。
給付額▼児童1人につき5万円。
※平成17年4月2日〜令和6年2月

保健福祉センター(子ども総務課)
〒264-0202
0264-020202

「令和5年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」コールセンター(子ども家庭庁)
同給付金の概要は、コールセンターでも案内しています。
☎0120(400)903
※月々金曜日午前9時〜午後6時(祝日を除く)。

介護予防セミナーを開催

内容▼①「健康長寿のカギはお口の健康から!」、②「脳トレ、筋トレ、脂肪とれ!」
とき▼①7月20日(木)午後1時30分〜3時・②25日(火)午後1時30分〜2時30分
ところ▼①渋谷学習センター、②地域医療センター
対象▼いずれも60歳以上の市内在住者
定員▼各先着20人
講師▼①市歯科衛生士、②市理学療法士
持ち物▼筆記用具②はタオル、動きやすい服装・靴も
申し込み▼電話で健康づくり推進課へ。




保健福祉センター健康づくり推進課地域保健活動係(2660)5663
FAX(260)1156

ひとり親世帯分

対象	申し込み
㉗今年3月分の児童扶養手当が支給された人	不要(支給済み)
㉘公的年金等を受給していて、今年3月分の児童扶養手当の支給が全額停止された人 ※児童扶養手当の申請をしていれば、今年3月分の同手当の支給が全額または一部停止となったことが推測される人を含みます。 ※公的年金等を含む、令和3年中の収入額が児童扶養手当の受給水準である場合に限りです。	本市で児童扶養手当などの認定を受けている人には、申請方法などの案内を6月に送付しています。それ以外の人は、子ども総務課へお問い合わせください。
㉙食料品等の物価高騰の影響を受けて家計が急変し、児童扶養手当を受給している人と同じ水準の収入の人	

ひとり親世帯以外の子育て世帯分

対象	申し込み
㉗令和4年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外の子育て世帯分)を本市から受給した人	不要(支給済み)
㉘㉗以外で食料品等の物価高騰の影響を受けて今年1月以降に家計が急変し、直近の収入が、令和5年度の住民税均等割が非課税の人と同水準になっている人など	市のホームページをごらんいただくか、子ども総務課へお問い合わせください。  市のホームページ

マイナンバーカードの臨時交付窓口を開設

マイナンバーカードの臨時交付窓口を設置しています。カードの受け取り方法は、市から送付された交付通知書やホームページをごらんになるか、お問い合わせください。

ところ▼市役所市民課(1階市民課窓口での受け付けが必要です)。
※同ポイントの申し込み期限は9月30日まで延長されており、9月は

窓口の混雑が予想されます。同カードの受け取り・マイナポイントの申し込みはお早めをお願いします。

市役所市民課証明交付係
〒264-0202
0264-020202

らくらく窓口証明書 交付サービスをご利用ください

マイナンバーカードまたは住民基本台帳カードを利用して、市役所市民課のタッチパネル端末で簡単に証明書などの交付申請ができます。ぜひご利用ください。

対象のカード▼利用者証明用電子証明書が搭載されたマイナンバーカードまたはコンビニ交付サービスの利用申請が済んでいる住民基本台帳カード

対象▼大和市に住民登録があり、対象のカードを持っている人
交付できる証明書▼住民票の写し、

印鑑登録証明書
手数料▼1通300円
受付時間▼月〜土曜日午前8時30分〜午後5時15分、日曜日午前8時30分〜午後0時30分。
※住民基本台帳カードの交付は終了しています。

市役所市民課証明交付係(260)5365
FAX(263)9549

さあ!あなたも認知症サポーターに 認知症サポーター養成講座を開催

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る「認知症サポーター」の養成講座を開催します。
とき▼①7月18日(火)午後1時30分〜3時・②29日(土)午後1時30分〜3時30分
ところ▼①下草柳コミセン、②西鶴間コミセン

対象▼いずれも市内在住・在勤者
定員▼①先着15人、②先着20人
講師▼地域包括支援センター職員
申し込み▼電話で①上草柳・中央地域包括支援センター(263)1108、②鶴間地域包括支援セン



同講座の受講者に配付される「認知症サポーターカード」

保健福祉センター人生100年推進課認知症施策推進係(260)5612
FAX(262)0999

公認心理師による 認知症介護者の個別相談会を開催

公認心理師が、認知症の人を介護する家族の悩みを聞いたり、気持ちの整理をするための相談に応じたりします。
とき▼8月22日(火)午後1時30分〜2時30分・3時30分〜4時
ところ▼保健福祉センター

対象▼認知症の人在宅で介護する家族など(本人または家族のどちらかが市内在住者)
定員▼各1人
申し込み▼電話で人生100年推進課へ。

保健福祉センター人生100年推進課認知症施策推進係(260)5612
FAX(262)0999

第71回大和市文化祭一般公募展の作品を募集

10月14日(土)から11月3日(祝)までシリウスギャラリーで開催する、大和市文化祭一般公募展の作品を募集します。

応募方法▼8月1日(火)〜31日(木) (必着)に出品申込書を直接または郵送で〒242-8601市役所文化振興課へ。ファクスまたは市のホームページから電子申請も可。

第2回やまと絵本大賞を開催

絵本作家を目指す新しい才能の発掘と、子どもたちの読書活動の推進を目的として、オリジナルで未発表の絵本作品を募集します。

表彰/賞金
・絵本大賞(1作品)/30万円
・優秀賞(1作品)/10万円
・入選(2作品)/5万円
・やまと特別賞(1作品)/5万円
応募資格▼絵本を商業出版したことのない高校生以上の人(グループによる共同作品も可)
審査▼出版関係者による審査(結果発表は来年3月頃)
募集期間▼10月1日(日)〜31日(火)

(必着)。
※作品の規定や応募方法など、詳しくはシリウスのホームページをご覧ください。



シリウスホームページ

問 シリウス内市立図書館(26030211) FAX(2630404)

夏休みボランティア「このゆびとまれっ！」

■共通事項 対象▶市内在住・在学の中学生・高校生
申し込み▶直接または電話で各センターへ。いずれも先着順。

ベテルギウス内大和市民活動センター ☎(260)2586

Table with 5 columns: メニュー, 内容, とき, ところ, 定員. Lists various volunteer activities like international exchange support, elderly support, and art/cultural support.

申し込み期限▶いずれも7月14日(金)(日曜日と毎月第3月曜日休館)。
※オリエンテーションを7月21日(金)・29日(土)いずれも午後2時〜4時にベテルギウス内大和市民活動センターで実施(いずれかに参加)。

保健福祉センター内やまとボランティアセンター ☎(260)5643

Table with 5 columns: メニュー, 内容, とき, ところ, 定員. Lists volunteer activities like childcare support, nursing home cleaning, and nursery school activities.

申し込み期限▶いずれも7月12日(水)(日曜日休館)。
※オリエンテーションを7月28日(金)、修了式を8月23日(水)いずれも午前10時30分〜正午に鶴間コミセンで実施。

親子農業めぐり

市内の農産物の収穫体験などを通して、農業の大切さを学びます。

とき▼8月8日(火)午後1時〜5時(雨天中止)
ところ▼市内の果樹園、グリーンセンター(渋谷・渋谷7-27-5)、観光花農園(集合・解散は市役所)
対象▼市内在住の小学生と保護者
定員▼40人(定員を超えた場合は抽選)
費用▼1人500円
持ち物▼タオル、長靴、軍手、帽子

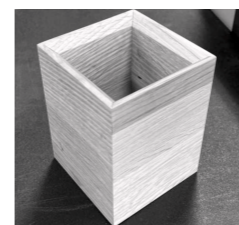
申し込み▼7月18日(火)(必着)までに往復はがき(1家族につき1枚)に、住所、電話番号、参加者全員の氏名(児童は学年も)を記載し〒242-0018深見西8-9-8さがみ農業協同組合大和営農経済センターへ。
※詳しくは同センター☎(263)5501へお問い合わせください。
問 市役所農政課農政係☎(260)5132 FAX(260)6281

市内の木材でペン立てを作ろう!

夏休みの宿題に最適!

市は緑地を良好な状態に保つため、成長し過ぎたり、病気になるたりした樹木を計画的に伐採しています。今回、伐採した樹木を使ったクラフトイベントを開催。木の感触を楽しみながら、樹木の有効活用や環境保全の大切さを学びます。ぜひご参加ください。
内容▼森林再生の取り組みに関する講義、ペン立ての制作
とき▼8月11日(祝)午前10時〜正午・午後1時30分〜3時30分
ところ▼いずれも市役所会議室棟

対象▼市内在住の小学生
定員▼各20人
講師▼堀内ウッドクラフト代表 堀内良一氏
申し込み▼直接または電話で市役所みどり公園課へ。
問 市役所みどり公園課みどり推進係☎(260)5451 FAX(260)6281



国民健康保険、後期高齢者医療制度のご案内

国保
国民健康保険の保険証が
8月から更新

8月1日(火)から、大和市国民健康保険の被保険者証(以下「国保証」)を更新します。新しい国保証は6月22日現在のデータを基に作成し、7月中に世帯主宛てに送付します。国保証が届いたら、記載事項に誤りがないか確認してください。

※70歳以上75歳未満の人は、「兼高齢受給者証」を国保証に記載しています(一部負担金の割合は令和4年中の所得・収入により再判定し記載しています)。

■有効期限は来年7月31日(水)

一部、有効期間の短い国保証を交付しています。

来年7月31日までに70歳になる人▼有効期限は70歳の誕生日の月末(1日が誕生日の人は前月の末日)です。対象者には誕生日の末日(1日)が誕生日の人は前月の末日(1日)までに国保証兼高齢受給者証を送付します。

来年7月31日までに75歳になる人▼有効期限は75歳の誕生日前日です。対象者には誕生日の前日までに後期高齢者医療被保険者証を送付します。

■記載内容に変更があった場合

市内での住所変更、世帯主や氏名の変更など被保険者の状況に変更があったときは、市役所市民課または各分室で住民登録を変更してください。

■新しく社会保険などに加入した場合

封筒の表面に「社保加入」と記載し、必要書類を郵送で〒242-8601 市役所保険年金課へ。直接も可。必要書類▼新しく社会保険などに加入した人全員の社会保険証(郵送の場合は両面をコピーし、電話番号を記入)と国保証。

※国民健康保険税額に変更がある場合は、届け出の翌月に税額変更決定通知書を送付します。

後期
後期高齢者医療保険料額
決定通知書を送付

神奈川県後期高齢者医療制度の加入者全員に、今年度の年間保険料額の決定通知書を7月中旬に送付します。保険料は、前年の所得額に応じて決定します。

国保
後期
納付方法

特別徴収の人は年金から差し引き、普通徴収で口座振替の人は口座から

引き落としで納付します。それ以外の人は同封の納付書で、金融機関やコンビニエンス・ストアで納付してください。

脳とからだの健康チェック



脳とからだの健康チェックは、簡単な体力測定のほか、タブレット端末を使用してタッチパネル形式で問題を解くことで、記憶力や注意力などの認知機能を同年代のデータと比較し、自分の健康度を確認するものです。タブレット端末の操作は、職員が1対1で丁寧にサポートします。対象▼65歳以上の市内在住者 定員▼各回先着1人 申し込み▼各開催日の前日(日曜日)の場合はその前の金曜日(午後3時までに電話で人生100年推進課へ。 ※結果は後日郵送します。

■国民健康福祉センター人生100年推進課認知症施策推進係 ☎(260)5612 FAX(262)0999

とき	ところ
8月 9日(水)	保健福祉センター
15日(火)	生涯学習センター
16日(水)	保健福祉センター
18日(金)	保健福祉センター
21日(月)	渋谷学習センター
22日(火)	保健福祉センター
24日(木)	保健福祉センター

大和市国民健康保険に関する限度額適用認定証などの申請を受け付け

市が発行する「国民健康保険限度額適用認定証」と「国民健康保険限度額適用・標準負担額減額認定証」の有効期限は7月31日です。8月以降も各認定証が必要な人は、再度申請してください。

持ち物▼大和市国民健康保険被保険者証

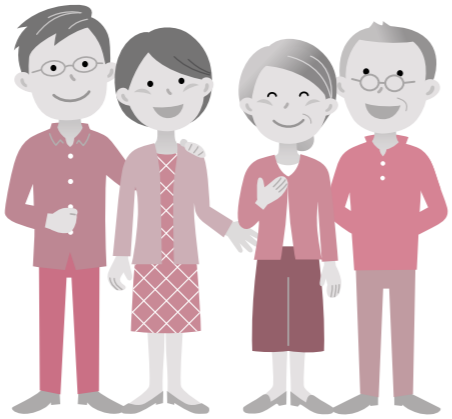
申請▼8月1日(火)から直接市役所保険年金課へ(健康上の理由などで来庁できない人は、お問い合わせください)。

※8月1日時点で70歳以上の人は、

次のいずれかに該当する場合は、認定証の発行対象になりますので、お問い合わせください。①世帯主および国民健康保険被保険者が住民税非課税、②一部負担金の割合が3割であって、課税所得が145万円以上690万円未満。

※原則、国民健康保険税を納期までに完納している人に発行します。

■市役所保険年金課保険給付係 ☎(260)5115 FAX(260)5158



児童扶養手当・特別児童扶養手当の現況届の提出を

児童扶養手当の現況届

提出期間▼8月1日(火)～21日(月) (6・11・12・19・20日を除く)。

■保健福祉センターこども総務課 課手当医療係 ☎(260)5608 FAX(264)0202

特別児童扶養手当の現況届

提出期間▼8月10日(木)～9月11日(月)(土・日曜日、祝日を除く)。

■保健福祉センター障がい福祉課 障がい福祉係 ☎(260)5665 FAX(262)0999

防災協力農地を募集

市は、災害時の避難空間、災害復旧資材置き場などに活用できる防災協力農地を募集しています。防災協力農地は、農地所有者があらかじめ登録し、災害時の市民の安全確保や円滑な復旧活動に使われます。災害時に使用された場合、市が状況に応じて農作物の補償料や土地使用料などを支払います。ぜひご協力ください。

対象▼一体的な地形的まとまりを有している300平方メートル以上の団の農地/すでに登録されている防災協力農地に隣接する農地。

※登録方法や期間、補償内容など詳しくはお問い合わせください。



■市役所危機管理課防災管理係 ☎(260)5777 FAX(261)4592

70歳以上が対象。ドライブレコーダーで安全運転診断 シルバー・ドライブ・チェックを実施

高齢運転者の事故が多く発生

アクセルとブレーキの踏み間違いや道路の逆走などで、高齢の運転者が増加する事故が、全国的に発生しています。市内でも、昨年発生した交通事故のうち、65歳以上の人が関係する事故は212件(約32%)となっています。

運転に不安はありませんか？
これまでに延べ225人が活用した診断をあなたもぜひ！

市は、70歳以上の運転者の交通事故対策として、ドライブレコーダーを活用した安全運転診断を実施しています。これまでに延べ225人が同診断を利用し、市交通安全教育員から安全運転のポイントについてアドバイスを受けました。

「最近、反射神経や判断能力が衰えた気がする」「家族の運転が危険で心配」など不安を感じたら、ぜひご利用ください。

- チェックの流れ
①ふだん使用する車に、市が貸し出す同レコーダーを取り付ける



市役所道路安全対策課交通安全・自転車対策係 ☎(260)5118 FAX(260)5474

- ②7月下旬～8月上旬頃に10日間程度運転し、同レコーダーを市に返却
③記録された映像を診断
④市交通安全教育員が、運転者(家族同伴可)と映像を見ながらアドバイス(9月中旬頃)
対象▼70歳以上の市内在住者
定員▼8人(定員を超えた場合は抽選)

申し込み▼7月3日(月)～14日(金)に直接または電話で市役所道路安全対策課へ。
※日程などの詳細は個別に通知します。

令和6年度の少年消防団員を募集

一人ではできない体験を通して多くのことを学べます

大和市少年消防団は現在、小学生75人、中学生40人が活動しています。同団では、火災予防と防災・減災について学ぼうと、消防出初式や市民まつりのパレードへの参加などを予定しています。中学生団員は災害時に地域で活躍できるよう、より高度な知識や技術の習得を目指します。

来年度4月から活動する同団員を募集します。

活動内容▼規律訓練、初期消火などの訓練、応急手当、救命講習、ロープ結索、避難所体験訓練、野外活動など

活動日/時間▼年間25回程度(土・日曜日・祝日と夏・冬休み)/午前9時～午後4時

対象▼市内在住の小学4年生～中学生(来年度4月1日時点)

定員▼小学生100人程度、中学生人数制限なし

費用▼小学生年間4,800円、中学生無料(小学生の指導に当たるため)

申し込み▼8月1日(火)～31日(木)に入団申込書と健康調査票を直接市消防本部予防課へ。提出書類は7月21日(金)から同課で配布するほか、市のホームページからダウンロードも



避難生活施設運営訓練にて

※活動期間中、活動服を貸与します。
※定員に達した時点で募集を終了します。募集終了は市のホームページでお知らせします。

市消防本部予防課予防係 ☎(260)5727 FAX(262)0119

市消防吏員(上級・初級)を募集

職務内容▼消防署(分署、出張所を含む)での消火・救助・救急業務、消防本部での消防業務

採用時期▼来年度4月1日付(予定)
募集人員▼①上級、②初級を合わせて若干名

応募資格▼①平成6年4月2日～14年4月1日生まれの人、②平成14年4月2日～18年4月1日生まれの人(いずれもそのほか条件あり)

第1次試験日▼9月17日(日)(事務能力基礎試験・消防適性検査・作文試験)・22日(金)(体力検査)
申し込み▼7月27日(木)・28日(金)は午前9時～正午・午後1時～2時、29日(土)は午前9時～午後1時に、必要書類を市消防本部3階講堂へ本人が直接持参(申し込み時に簡単な聴き取りあり)。

※必要書類など詳しくは、受験案内を

をごらんください。同案内は、7月29日(土)午後1時まで市消防本部消防総務課、消防署本署・各分署・出張所で配布するほか、市のホームページからダウンロードもできます。

市消防本部消防総務課政策調整係 ☎(260)5775 FAX(262)0119

市立病院運営審議会委員を募集

市立病院の組織や運営に関する基本的事項について、調査・審議を行う委員を募集します。

任期▼10月1日～令和7年9月30日(年2～3回程度の会議を予定)

報酬▼会議1回につき8,900円

対象▼20歳以上の市内在住・在勤・在学・在活動者

募集人数▼2人

申し込み▼8月10日(木)(必着)までに応募用紙と、別紙に応募動機と市立病院のあり方に関する意見を800字程度にまとめ、直接、ファクスまたは郵送で〒242-8602市立病院総務課へ。市のホームページから電子申請も可。

※応募用紙は同課で配布するほか、市のホームページからダウンロードもできます。

※9月中旬に応募者全員に結果を通知します。

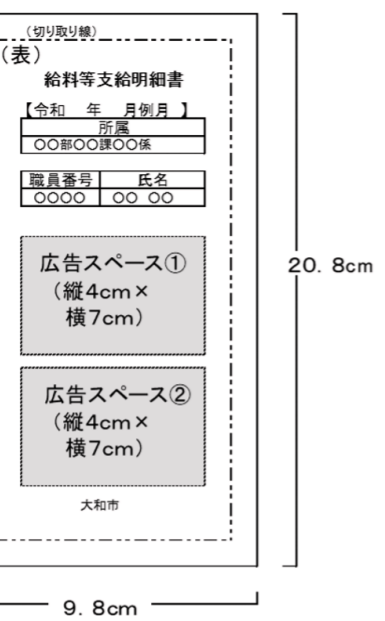
市立病院総務課総務調整係 ☎(260)0111(代) FAX(260)3366

職員用給料明細書に掲載する広告を募集

市は、自主財源を確保するため、職員に毎月配付している給料等支給明細書に掲載する広告を募集します。発行数▼約2万8,000枚(一般職の職員など約2,000人に年間14回配付予定)

照会承諾書は同課で配布するほか、市のホームページからダウンロードもできます。

広告掲載位置



広告図案規格(縦×横)▼4・0センチ×7・0センチ(単色刷り、図案は年間を通じて同一)

※広告図案は原寸大で作成し、電子データで提出してください。

※政治や宗教に関するものは、公序良俗に反するものなどは掲載できません。詳しくはお問い合わせください。

年間掲載料(来年度1～12月)▼1枠4万5,000円
募集枠▼2枠
申し込み▼9月14日(木)(必着)までに申込書と照会承諾書、広告図案を直接または郵送で〒242-8601市役所人財課へ。申込書と

※応募多数の場合は、市内の企業、事業者を優先します。優先順位が同一の場合は、抽選で決定します。

市役所人財課給与労務係 ☎(260)5364 FAX(264)6074

みんなの消費生活展

1日

☎(260)5129 市民相談課

より賢い消費者になるための暮らしに役立つ情報を提供。消費生活相談コーナーや消費者団体によるコーナーも 8/2(水)10:00～15:30 ④イオンモール大和1階ライトコート(下鶴間1-2-1) ④不要。

自転車安全利用講習会

1日

☎(260)5118 道路安全対策課

自転車の交通ルールやマナーを学び、幼児・児童用自転車ヘルメット(SGマーク付きの新品)の購入助成(上限2,000円。購入済みのヘルメットは対象外)やTSマーク取得助成に利用できる認定証と助成申込書も交付 ①8/3(木)・②19(土)いずれも10:30～11:30 ④①ポラリス、②渋谷学習センター ④市内在住者 ④各先着40人 ④筆記用具、参加者の住所と氏名が確認できるもの(マイナンバーカード、運転免許証など) ④電話で。

人格的資質向上研修講座

「人権教育」

1日

☎(260)5213 教育研究所

難民支援協会の活動を紹介。テーマは、「地域も学校も多文化共生～日本にいる難民のはなし」 8/3(木)14:30～17:

00 ④渋谷学習センター ④市内在住者、市内小・中学校教職員 ④先着60人 ④認定NPO法人難民支援協会(JAR) 鶴木由美子氏 ④8/2(水)(必着)までに講座名、氏名(ふりがな)、電話番号を記載し、ファクス(263)9832または郵送で〒242-8601 市教育委員会教育研究所へ。直接または電話も可。

脳とからだを楽しく鍛えるコグニサイズ教室

☎(260)5612 人生100年推進課

認知機能低下予防の習慣をつけるため、仲間と一緒に頭を使いながら運動する 8/1～11/7の毎週火曜日、11/21、12/12、来年1/16の火曜日9:30～11:30(全18回) ④桜ヶ丘中央病院(福田1-7-1) ④桜ヶ丘中央病院リハビリ専門職 ④次の①～③のすべてに該当する人。①脳とからだの健康チェックを受検可能、②要支援・要介護認定を受けていない、③全18回の教室に参加可能 ④先着20人 ④電話で。※通所型サービスC(短期集中型予防サービス)との同時受講は不可。

パラチャレ

☎(260)5762 スポーツ課

パラスポーツ3種目を楽しく体験 8/19

(土)9:30～12:30 ④大和スポーツセンター ④30人(定員を超えた場合は抽選) ④動きやすい服装、室内シューズ、タオル ④8/12(土)(必着)までに、往復はがきに教室名、住所(市外在住で市内在勤・在学・在園者はその旨も)、氏名(ふりがな)、性別、年齢(学生は学年も)、電話番号を記載し、〒242-0029上草柳1-1-1大和スポーツセンターへ。ホームページからも可 ④同センター☎(261)6200。

高齢者等の外出を支援する福祉有償運送運転者講習

☎(260)5604 健康福祉総務課

高齢の人や障がい者(児)の外出を支援する、国土交通大臣認定の福祉・セダン等運転者講習 8/26(土)9:00～18:00 ④保健福祉センター ④県内で福祉有償運送に従事しようとする人 ④先着18人 ④NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク理事長 清水弘子氏 ④1

特定小型原動機付自転車の登録手続きを開始

☎(260)5231 市民税課

7月から道路交通法の改正により、特定小型原動機付自転車(電動キックボード等)の所有や使用には、車両登録やナンバー交付が必要になります。車両登録の翌年度からは毎年、軽自動車税(種別割)2,000円が課されます/車両登録等の手続き ▶7/3(月)から直接市役所市民税課へ ④販売(譲渡)証明書などの必要書類。※詳しくは市のホームページをごらんになるか、お問い合わせください。

万1,000円(会員団体は8,000円) ④電話で同法人☎045(534)6718へ。

日商簿記講習会

☎(260)5134 産業活性化課

日商簿記3級コース 8/14～11/16の毎週木曜日18:00～20:15(全10回) ④大和商工会議所(中央5-1-4) ④先着20人 ④大和商工会議所会員1万円、非会員1万5,000円(いずれも教材費別途) ④柏木実業専門学校 宇野隆之氏ほか ④7/3(月)～9/8(金)に大和商工会議所☎(263)9112へ要問い合わせ。

募集

県立総合職業技術校10月生募集

☎(260)5135 産業活性化課

実施校▶東部校(かなテクカレッジ東部)☎045(504)2810)、西部校(かなテクカレッジ西部)☎0463(80)3002) ④就職に必要なスキルを習得したい人 ④7/12(水)～8/9(水)にハローワークで事前手続きのうえ各校へ ④県産業人材課☎045(210)5715。※募集コースや申し込み方法など詳しくは募集案内をごらんください。募集案内は市役所産業活性化課や県内ハローワークなどで配布しています。

広告入り窓口封筒の無償提供者を募集

☎(260)5365 市民課

④市民課で利用する窓口封筒を無償で提供できる法人または個人事業者/規格・作成予定数▶角形2号・2万8,500枚、角形6号・12万3,000枚 ④8/1(火)～15(火)(必着)に申込書、提案書など必要書類を直接または郵送で〒242-8601 市役所市民課へ。詳しくは市のホーム

ページをごらんになるか、お問い合わせください。

自衛官採用説明会

☎(260)5110 市民課

8/3(木)14:00～16:00 ④シリウス3階マルチスペース ④今年度18～32歳になる人 ④50人 ④Eメールで。詳しくは自衛隊厚木募集案内所のホームページをごらんください ④同案内所☎(400)2486。



福祉作文を募集

☎(260)5604 健康福祉総務課

④市内在住・在学の小学4年生～高校生/テーマ▶日頃、福祉について感じたこ

と、考えていること、体験したこと/規格▶400字詰原稿用紙3枚以内に手書きで(最初の3行に題名、学校名、学年、クラス、氏名を記載。手書きが困難な場合のみパソコンでの作成可) ④8/31(木)(必着)までに、市内の在学学生は学校に直接。市外の学校の児童・生徒は、郵送で〒242-8601保健福祉センター健康福祉総務課へ。※作品は返却しません。※受賞作品は市のホームページに掲載します。※受賞者を10/14(土)に開催する「福祉の日の集い」で表彰し、受賞者名、学校名などととも表彰式のように市のホームページなどで紹介する予定です。※受賞作品はFMやまとで収録・放送します。

4/1～30

善意の心

皆さんの温かい心をありがとうございました。(敬称略)

◆市への寄附 572万1,000円

(このうち返礼品の贈呈を伴うもの149件・440万1,000円)

④☎(260)5302 政策総務課(寄附の詳細は、各担当課をご案内します)

保健福祉の充実に関する事業へ◇木曾進、匿名1件/生涯学習の振興に関する事業へ◇匿名1件/その他目的達成のために市長が必要と認める事業へ◇匿名1件。※大和市寄附条例に基づき受け入れた寄附金、財産、物品については、市のホームページでも公開しています。

◆大和市社会福祉協議会への寄附金34万5,813円、寄託品103件

(このうち手作り品収入21件・16万6,173円)

④☎(260)5633 同協議会総務課

社会福祉のために◇高島スミ子、藤田勉、佐川博之、(株)BOOKS太陽堂、(株)ししくらセレモニー、絆小屋との協働(市社協、(有)太田屋、ワークスケア千本桜、大和YMCAライフサポートセンター、セブン-イレブン大和東1丁目店、セブン-イレブン大和鶴間1丁目店、相模大塚駅前郵便局、桜ヶ丘郵便局、福田郵便局、下鶴間郵便局、柳橋郵便局、上草柳郵便局、鶴間駅前郵便局、南大和郵便局、南林間六郵便局、カフェスプンティーン、鶴間台自治会、横浜園大和駅ビル店、上草柳ふれあいまつり)ほか/障がい福祉のために◇岡田稔/指定寄付◇(有)太田屋、匿名1件。※大和市社会福祉協議会への寄附金・寄託品の情報は、社協だよりと社協のホームページに掲載しています。

8月の救命講習会

☎(260)5751 救急救命課

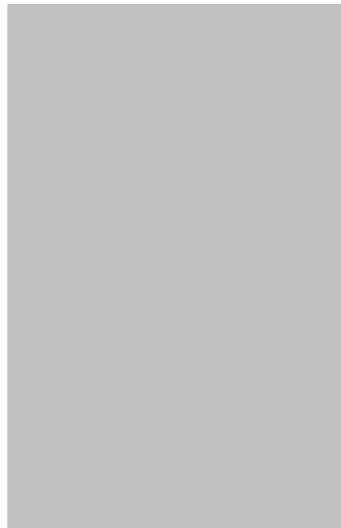
1日

①②普通救命講習会Ⅰ、③普通救命講習会Ⅲ(小児・乳児の心肺蘇生法とAED使用法)。いずれも ④市消防本部 ④市内在住・在勤者 ④各先着①②16人、③12人 ④筆記用具、実技ができる服装で ④各締切日までに電子申請で(右のコードを読み取り「救命」で検索してください)。※申込者が少ない場合は、中止することがあります。※専用駐車場はありません。



講習会名	日時			申し込み締切日
		講義	実技	
普通救命Ⅰ	①8/10(木)	ウェブ講習*	13:30～15:30	8/3(木)
	②8/23(水)	9:00～10:00	10:10～12:00	8/16(水)
普通救命Ⅲ	③8/24(木)	ウェブ講習*	13:30～15:30	8/17(木)

※パソコンやスマートフォン、タブレット端末で学べる講義。日時は任意。



大和市は自主財源を確保するため、「広報やまと」に広告を掲載しています。



第47回

神奈川大和 阿波おどりを開催

駅周辺での演舞が4年ぶりに復活！

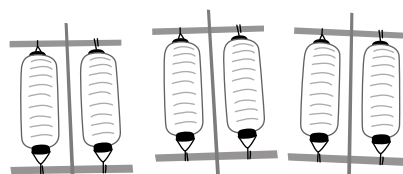
かね 鉦や太鼓の音が鳴り響く中、色鮮やかな衣装をまとった演者が踊りを披露する「神奈川大和阿波おどり」。今年は4年ぶりに大和駅周辺の路上で開催します。見ても踊っても楽しめる大和の夏の風物詩をぜひご堪能ください。

と き 7月29日(土)・30日(日)いずれも午後4時30分～8時20分

と ころ 大和駅周辺。

賛助会員を募集・オリジナルグッズを販売

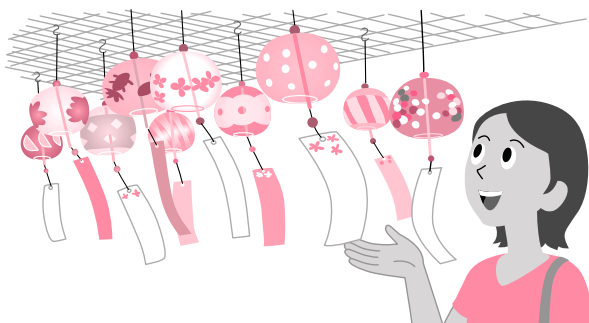
賛助会員(一口3,000円)を募集しているほか、当日は会場でTシャツやタオルなどのオリジナルグッズを販売予定です。
※詳しくは「神奈川大和阿波おどり」のホームページをごらんください。



☎ 神奈川大和阿波おどり振興協会事務局 ☎050(7303)4837 FAX(263)1705

第29回

西口風鈴まつり



風鈴の販売やステージ、フリーマーケットなど。涼やかな風鈴の音を聞きに、ぜひお越しください。

と き 7月29日(土)・30日(日)
いずれも午前10時～午後8時30分
(30日は午後8時まで)

と ころ 大和なでしこ広場(大和駅西側プロムナード)。

☎ 西口風鈴まつり実行委員会 ☎(263)9112 FAX(264)0391